

背景・課題

- 火山が噴火した場合に住民等の生命又は身体に被害が生ずるおそれがあると認められる地域においては、避難誘導等を迅速かつ確実にを行うため、事前の備えが必要である。

事業の概要

- 山梨県内の4つのモデル市町村において、
  - 発生可能性や被害規模等を勘案し特定事象を抽出
  - 噴火時にただちに活用できる、特定事象を想定した避難実施要領（※）を作成
- 防災専任職員に限られた団体においても参考となるよう、モデル市町村における避難実施要領の作成事例を公開

※避難に時間的猶予のないミサイル攻撃等の武力攻撃事態等に備え、市町村に作成義務がある避難実施要領を参考に作成するもの

避難実施要領のパターン作成例  
(武力攻撃事態の例)

| 避難実施要領                  |   |         |       |         |
|-------------------------|---|---------|-------|---------|
| B市長<br>令和元年8月3日17時10分現在 |   |         |       |         |
| 市町村域内避難                 |   |         |       |         |
| 1 都道府県からの避難の指示の内容       |   |         |       |         |
| 別紙のとおり                  |   |         |       |         |
| 2 事態の状況、関係機関の措置         |   |         |       |         |
| 2-1 事態の状況               |   |         |       |         |
| 発生時期                    | 令和元年8月3日15時35分  |         |       |         |
| 発生場所                    | A県B市 夏祭り会場内Z商業施設  |         |       |         |
| 実行の主体                   | 国際テロ組織「X」と考えられる。  |         |       |         |
| 事象の概要と被害状況              | Y公園において爆発事象が発生し、100名程度が負傷。また、B市夏祭り会場内にあるZ商業施設内において爆発物とみられる不審物を発見。   |         |       |         |
| 今後の予測・影響と措置             | Z商業施設周辺地域の住民を早期に避難させる必要がある。避難の解除まで時間を要することが予想されることから、数日間避難施設にとどまることを考慮する必要がある。  |         |       |         |
| 気象の状況                   | 天候：晴れ、気温：31℃、風向風速：南 1m  |         |       |         |
| 2-2 避難誘導の概要             |   |         |       |         |
| 要避難地域                   | Z商業施設を中心とした概ね300mの地域を含む街区（B市大手町一丁目から四丁目）  |         |       |         |
| 避難先と避難誘導の方針             | ・大手町一丁目の住民を、一時避難先からF中学校へA県が手配したバスにて避難させる。<br>・大手町二丁目から四丁目までの住民を、D小学校及びE小学校に徒歩にて避難させる。   |         |       |         |
| 避難開始日時                  | 令和元年8月3日17時05分  |         |       |         |
| 避難完了予定日時                | 令和元年8月3日18時35分  |         |       |         |
| 2-3 関係機関の措置等            |   |         |       |         |
| 措置の概要                   | 自衛隊：要避難地域内にいる残留者の避難誘導を実施<br>警察：要避難地域内にいる残留者の避難誘導を実施<br>消防：要避難地域外にいる避難者の避難誘導を消防団と協力し避難広報を実施<br>鉄道事業者：鉄道の運行を停止及びY駅への立入を禁止<br>バス事業者：立入禁止区域内への運行を停止 |         |       |         |
| 連絡調整先                   | 県対策本部：市職員を2名派遣<br>現地調整所：市職員を2名派遣  |         |       |         |
| 3 事態等の特性で留意すべき事項        |   |         |       |         |
| 事態の特性（除染の必要性等）          | ・祭典中の事案で有り、通常より人出が多く、直近避難施設のみでは収容困難<br>・不審物は爆発物とみられ、犯人グループも確保できていない。また、更に爆発物が存置している可能性があるため、長期化が予測される。<br>・鉄道機関は運行停止となっているため、市外者の帰宅が困難。         |         |       |         |
| 地域の特性                   | 要避難地域内にG養護老人ホームが存在する。   |         |       |         |
| 時期による特性                 | ・気温が高いため、熱中症対策として避難者には十分な水分と塩分の補給を施す必要がある。  |         |       |         |
| 4 避難者数(単位：人)            |   |         |       |         |
| 地区名                     | B市大手町一丁目～四丁目  | 人出      | 祭典関係者 | 合計      |
| 避難者数                    | 約1,500人   | 約5,000人 | 約500人 | 約7,000人 |
| うち避難行動要支援者数             | 40人   | 不明      | —     | 40人     |

